

【教育目標 げんきいっぱい えがおいっぱい いきいき表現する子ども】



きらきら

新潟市立沼垂幼稚園
園だより
令和5年3月20日発行

修了児の皆さんへ

「みんなともだち」

園長 青木博子

年長組の皆さん。修了おめでとうございます。

皆さんが沼垂幼稚園に入園したのは令和2年4月10日です。そのあと、感染症が広がって、学校や幼稚園はみんなお休みになりました。沼垂幼稚園もお休みになりました。5月の半ばを過ぎた頃から、少しずつ登園することができるようになり、6月1日からは、毎日幼稚園に通うことができるようになりました。



園長先生が沼垂幼稚園に来たのは、皆さんが年中さくら組に進級したときです。感染症はますます広がっていました。さくら組だった皆さんは、みんなマスクをして、丁寧に手洗いや消毒をしていました。黙って給食を食べる「黙食」をしていました。その姿を見て、園長先生はとても驚き、涙が出るほど感心したことを覚えています。

感染症が始まったころ、その感染症のことがよく分からないから、みんなが、怖くて不安な気持ちがありました。それから、手洗いや換気、マスクを付けることが大切だというお話があって、幼稚園でもおうちの人に協力をお願いしてきました。おうちの人や先生方も大切な皆さんを精一杯守りたいと思ってがんばりました。皆さんも、本当によくがんばってくれたと思います。

あれから長い時間が経ち、感染症についてたくさんの方が分かってきました。換気や手洗いや消毒などが大事なことは変わりませんが、修了式ではマスクをしなくてもよいということになりました。もちろん、自分の口や鼻を守るためにマスクをしたい人、お仕事などでマスクをしたい人、ほかにもいろいろな理由でマスクをしたい人がいます。それは、当たり前なことなのです。これからは、一人一人が考えて、マスクをしていくことになります。皆さんも、おうちの人と相談しながら自分の体を守っていきましょう。

さて、皆さんがこれから通う小学校には、たくさんのお友達がいて、一人一人が、好きなことややりたいことが違ってきます。好きなことややりたいことが同じでも違っていても、一緒にやり遂げることができる、「みんなともだち」だということがとても大切です。そして皆さんは「みんなともだち」ができる子どもだと、園長先生は自信をもっています。

園長先生が自信をもっているわけを、これからお話しします。

皆さんは、カラスから野菜を守るために、みんなで考えを出し合いました。友達と考えが同じ時もあれば、違っていることもありました。ですが、いつもみんなで、「こうしよう」と決めて、力を合わせて乗り越えてきました。

光と影の遊びに夢中になり、「オズの魔法使い」の劇と人間影絵、「ももたろう」の人形影絵、そして、プラネタリウムにも挑戦しましたね。「影絵では、どこに立てば、見てくれる人が見やすいのか」「役がたくさんあるのに人が足りない、どうしようか」など、次から次へと「やりたいこと」「困っていること」から「どうすればいいか」を考え、話し合っ、やり遂げてきました。友達のやりたいことや考えが自分と違っているときは、「〇〇さんはそう思うんだね」「その気持ち分かるよ」と友達の言葉を受け止めていました。そして、「どうすればいいか」を話し合うときは、いつも自分の考えを自分の言葉でみんなに伝えていました。そして、自分のことだけではなく、お友達やみんなのためにどうすればいいかを考えて伝えていました。

そのように「みんなともだち」でいられる皆さんは、そのともだちパワーで、とても素晴らしいことを次々にやってきたのです。とてもすごい皆さんを、園長先生は誇りに思っています。

これまで、皆さんは、おうちや幼稚園の生活の中で、自分の好きなことをたくさん見付けて、夢中で遊びました。たくさんの人に受け入れてもらったり、ときには友達と思いがすれ違い悲しい思いや悔しい思いをしたりしてきたこともあります。そんなときは、自分に「よし！」と言いきかせて、自分で前を向いていきました。たくさんのお出来事が、皆さんひとりひとりがもっていた「友達を思いやること」「好きなことを見付けて夢中になること」を通して、「友達とみんなで一緒に創り上げること」をさらに大きくしていきました。

そして、何よりも、皆さんのお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんが、そして先生たちが、皆さんに「みんなともだち」の素晴らしいお手本を見せてくれました。そのたくさんのお出来事とお手本のおかげで、皆さんが「みんなともだち」でいられたのです。

最後に、もう一つ、皆さんが「みんなともだち」ができると園長先生が自信を持っているわけを話します。それは、「皆さんの笑顔」です。皆さんは、マスクをしていましたが、にこにこしていることはすぐに分かりました。毎朝玄関で、私に「おはようございます」と明るい挨拶をしてくれました。困っていたり怒っていたりしたことも、うれしそうなこともすぐに分かりましたよ。皆さんのかわいい笑顔を見ていると、園長先生は元気になります。きっと、おうちの人たちも同じでしょう。皆さんの笑顔は、人を幸せにする力があるのです。笑顔でいる人の周りには、友達が集まってきます。これからも、その笑顔で友達をもっともっと幸せにしてください。

皆さんは、沼垂幼稚園で育った立派な子どもたちです。先生たちは、皆さんがどこの小学校に行っても大丈夫だと思っています。これから、楽しい小学校生活が待っています。

みんながともだちです。

友達を思いやる1年生、好きなことを見付けて夢中になる1年生、そして、友達とみんなで一緒に創り上げる1年生になることを祈って、園長先生の最後のお話にします。